

地域ケア会議の報告

平成31年3月7日 北区地域福祉推進会議

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の方が、いつまでも安心して暮らしていけるよう、介護、福祉、医療、健康など日常生活上の様々な悩みの相談を受け総合的に支援

○地域ケア会議

多職種の協働による個別ケース（困難事例等）の支援を通じた

- ・ 地域支援ネットワークの構築
- ・ 地域課題の把握 などを行う。

地域ケア会議の分析から見えてきた課題と取り組み

【課題 1】

複合的な課題を抱えた事例が多く生活課題が深刻化してからつながる事案が多い

＜取り組むべき方向性＞

- 地域ケア会議や小地域ケア会議において、地域や多職種との支援体制を強化し多職種による連携支援
- 総合的な支援調整の場として区役所が「つながる場」を開催し、連携支援体制の強化
- 早期相談につながるよう幅広い世代への相談窓口の周知や高齢者の集える場等の情報提供と地域へつなぐ取り組み

地域ケア会議の分析から見えてきた課題と取り組み

【課題2】

近隣や地域とのつながりを好まない（高層）マンション住民の孤立により、
要支援高齢者の把握が困難である

＜取り組むべき方向性＞

- ・マンションの自治会や管理組合との顔の見える関係づくり
- ・区役所地域課と連携しマンションアプローチによる高齢者の相談窓口の周知
- ・区認知症対策事業連絡会議において検討